



# こやの里たり

(第5号)

令和8年7月1日(水)

兵庫県立こやの里特別支援学校

校長 只石和世

## 「仲間とともに」

中学部長 清水 智美

今年度は、40名の新入生を迎え、生徒109名、教職員43名で新たなスタートを切りました。新年度が始まって6か月が経ち、子どもたちは新しい教室や仲間、授業にも少しずつ慣れ、落ち着いて学校生活を送れるようになってきています。休み時間には、体育館や中庭でボール遊びをしたり、自転車に乗ったりと、元気に体を動かす様子が多く見られます。順番を守ったり、遊びのルールを相談して決めたりと、子どもたち同士で自然に言葉を交わしながら関わる姿に、日々の成長を感じております。

さて、中学部では「自分と仲間を大切にし、ともに成長できる生徒」を目標にしています。中学部は学校生活の折り返しの時期でもあり、これまでの経験を土台にしながら、少しずつ社会に目を向けていく大切な段階です。小学生の頃のように自分のことで精一杯になる段階から一歩進み、社会生活(卒業後)を少しずつ見据えながら、自分だけでなく周囲の友だちや教職員を意識し、協力して成長していくことを大切にしています。その取り組みの一つとして、6月には学年ごとに「学部目標」を子どもたちに分かりやすい言葉で伝える授業を行いました。

### ① 自分の役割をがんばろう

係活動や友だちとの関わりなど、一人ひとりが大切な役割を持っています。自分なりにできることに一生懸命取り組みチャレンジしましょう。



### ② 元気にあいさつしよう

あいさつの大切さを学び、実際に練習しました。明るいあいさつが、安心感やつながりを生み、気持ちよく過ごす力になります。

### ③ 気持ちを伝えよう

うれしい気持ちや困ったこと、感謝の思いなどを、言葉や身振りで伝える大切さを感じてほしいです。

2・3年生は昨年度から引き続き同様の学習に取り組んでおり、友だちとの関わりや進んであいさつをする様子に、頼もしさが見られるようになってきました。その姿は、1年生にとっても良いお手本となっています。1年生も、そんな先輩の姿を見ながら、自分らしく伸びていってくれることを期待しています。

これからも、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、子どもたちが安心して自分らしく成長できる環境づくりに努めてまいります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。